

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立西淀中学校（大阪府）【指定校】

【取組内容】 クラウド活用でアイデアを可視化 生徒主体の校外学習へ

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

校外学習の各活動で情報共有を速やかに

Point

生徒のアイデアを可視化！ 主体的な活動を促進

班長会議は Google フォーム™ で

「こんなときどうする?」という議題に対して、各班長の意見をフォームで集約。各班長は同意する意見を選び、フォントを大きくして表現。多数意見が視覚的にわかりやすくなり、協議進行のヒントに。

班長	意見	班長が常に全員の確認して行動する
1組1班	家が近い人と一緒に来てもらう	班長が常に全員の確認して行動する
1組2班	誰かと来てもらう	声かけ
1組3班	前日の呼びかけ、誰かと一緒にいってもらう	常に班の人数の確認をする
1組4班	前日にしっかりと集合の五分前あたりには着くようにと伝える	全員ではできないように行動し、歩くペースもできるだけ速い子に合わせる
1組5班	余裕を持った集合時間にする	ばらばらで見回るときも誰か二人以上でまわってもらう
1組6班	早めに集合する	定期的に班員の人数を確認する
2組1班	遅速に行く	班長が一歩進みについていく
2組2班	遅れそうな人はだれかと一緒にきてもらう	班長が常に班員を確認しながら行動する

各係からの報告は Google スライド™ で

訪問先でのマナーや事前学習でわかった見学のポイントをスライドにまとめ、Google ドライブ™ で共有。さらに、印刷したスライドを廊下などに掲示し、ポスターとしても活用。



振り返りとして動画制作

訪問先で撮影した写真はクラウドで共有し、班で共同編集しながら動画を作成。保護者に伝える活動を行う。



- ① フォームやスライドを使うことで生徒一人一人のアイデアが可視化され、リアルタイムに共有することができる。
- ② 相互参照や共同編集を通して生徒同士の対話が生まれ、アイデアがブラッシュアップ。主体的な活動へとつながる。

生徒の反応



これまでは班長会議で話し合ったことを詳細にメモしなければなりませんでした。今は、みんなの発言がデータを確認するだけでわかるので便利だと思いました。



友だちと話し合いながら共同編集をするので、一人で考えるよりもたくさんのアイデアが思い浮かんできました。